

市民のひろば

市民の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。



テ

レビで連日放送されている、あおり運転。私も前に大隅縦貫道でピタッとつけられたことがあり、とても怖い思いをしました。自分がブレーキを踏むと追突するレベルです。運転手一人ひとりが落ち着いて、ハンドルを握って運転して欲しいです。(T・Aさん・女性)

危険なあおり運転が社会問題となつています。鹿児島県警のホームページによると、「『あおり運転』とは、他の車両に対して、車間距離を異常に詰める、ハイビーム・パッシングを繰り返す、クラクションを執拗に鳴らす、左右に進路変更し車体を振る、幅寄せをするなど、進路を譲るよう相手を威嚇したり、嫌がらせをするなどの行為」とあります。前の車がゆつくりでも焦らず、追いつかされてもいら立たず、あおり運転の被害者にも加害者にもならないために、ドライバーとしての心の整備が重要です。

鹿

屋へ引越してきて、半年が経ちましたが生活のしやすさと住民の方の優しさを感じています。名前だけは知っていましたが、星塚敬愛園のこと、ハンセン病の歴史について広報かや9月号で少しでも知る機会が持てました。入所者の方々はこれまで様々な差別を経験したことと思います。世の中には、多くの偏見や差別が存在します。令和の時代には一人でも多くの人が夢を持ち、前向きに生きていける社会になることを願います。(M・Yさん・男性)

昭和10年に星塚敬愛園が開園して、今年の10月で85年目を迎えます。長い歴史の中で、入所者のお一人おひとり、そして家族の方々には言葉や文字では表現できない思いがあると思います。偏見や差別をなくし、人権が尊重される社会を実現していくためには、ハンセン病を正しく理解することがとても大切です。

市では、10月19日(土)にリナシティかのやで、ハンセン病問題啓発講演会を開催します。当日は、星塚敬愛園入所者自治会長の岩川洋一郎氏による講演とハンセン病元患者とその孫の交流を描いた映画「ふたたび swing me again」の上映を計画しています。是非、多くの方にお越しいただきたいと思えます。

私

はキャンプをすることが趣味で気分転換に大隅湖でソロキャンプをします。もちろん、ファミリーでもします。来年の国体のボートが大隅湖ではなく、輝北ダムとなり、少し寂しい思いがします。大隅湖は、子どもの頃からの思い出の場所なのでファミリーや多くの方が訪れる場所になることを願います。(K・Hさん・男性)

平成28年の台風第16号は、大隅湖周辺にも大きな被害をもたらしました。あれから3年、道路や橋りょう、農地等の復旧を終え、生活機能等も回復してきたことから、災害を振り返り、再び地域の活性化を図るため、10月19日(土)に、大隅湖特設ステージ周辺で「鹿屋市復興祭」を開催します。当日は、4年ぶりとなる「大隅湖レイクサイドフェスティバル」と同日開催となり、夜には花火とレーザー光線ショーも行われます。是非、ご家族でお越しください。



▲花火とレーザー光線ショーが魅力の「大隅湖レイクサイドフェスティバル」

最

近、本格的に再開したゴルフの練習やラウンドを通して、周囲の人々に対するマナーにも配慮すべきと自戒の念を込めながら、ゴルフクラブを振っているところで、す。広報かや8月号では、受動喫煙を防ぐための法律改正、令和2年度から新たに原則、屋内禁煙となる対象施設が指定されるとあり、タバコを吸う人も吸わない人も互いに他者への配慮を考える機会となつてほしいです。(Y・Kさん・男性)

ゴルフは実力よりもまずマナーと言われるように、「他者への気遣い、配慮」という点では、今回の受動喫煙防止の取り組みと相通ずるものがあるかもしれません。愛煙家にとつて至福のひとつでも、一方で、受動喫煙で困っている人もいます。今回、喫煙のルールが変わったことが、他者への思いやりをみんなで考えるきっかけになることを期待したいです。

かのやばら園・霧島ヶ丘公園

いま旬!



「赤そば」の花

ばら園内の季節の花々が植栽された花壇には、9月末頃から辺り一面紅色の美しい絨毯のように色づく小さな花びらの「赤そば」の花が見頃を迎えます。